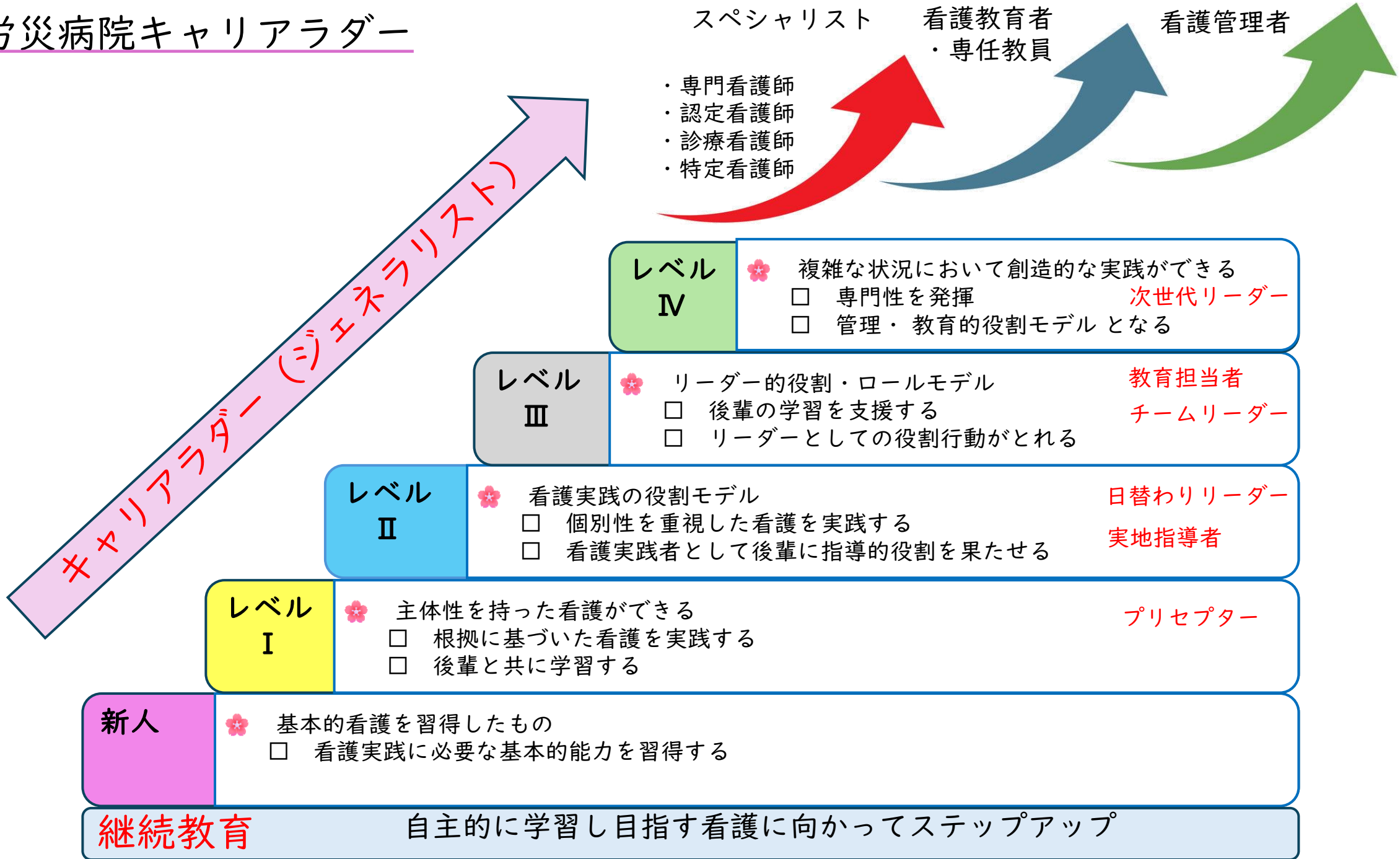


長崎労災病院キャリアラダー



	レベル新人 *与えられた課題ができる	レベルI *病棟で一人前として自律できる	レベルII *リーダーシップが発揮できる	赤字：必須研修 <>：担当	★：課題提出	
専門的・倫理的・法的な実践力	倫理的・法的規範に基づき実践する		個別の状況において、倫理的・法的判断に基づき実践を行い、規範からの逸脱に気づき表明する	倫理的・法的判断に基づき認識した課題や潜在的リスクの解決に向け行動しロールモデルを示す	より複雑な状況において倫理的・法的判断に基づき行動し、倫理的かつ法律を遵守した実践のための体制整備に組織や分野を超えて参画する	
専門性の開発能力	基本的な看護手順に従い必要に応じ助言を得て看護を実践する	標準的な看護計画に基づき自立して看護を実践する	ケアの受け手に合う個別的な看護を実践する	幅広い視野で予測的判断を持ち看護を実践する	より複雑な状況において、ケアの受け手によって最適な手段を選択しQOLを高めるための看護を実践する	
リーダーシップとマネジメント	(責任の最も軽い、難易度の低い) 軽微な組織的役割を果たす	組織の一員としての役割を理解し、部署の目標達成に向けて行動する	部署での立ち位置を理解し、部署における組織的役割(チームリーダー・サブリーダー、学習会係、業務改善係、感染管理、褥瘡ケアなど)を遂行する	部署・看護部で、特殊または専門的な能力を必要とされる役割、または、指導的役割(学生指導、教育委員、リスクマネジメント委員など)を遂行する	部署を超え、看護部や病院から求められる役割を遂行する	
専門性の開発能力	自己の課題を指導によって発見し、自主的な学習に取り組む	自己の課題を明確化し、達成に向けた学習活動を展開する	自己の学習活動に積極的に取り組み、指導的な役割を実践する	自己のキャリア開発に関して目指す方向に主体的に取り組む、ロールモデルとなる主体的に研究に取り組む	単独で専門領域や高度な看護技術等について自己の教育活動を展開する	
専門的・倫理的・法的な実践力	看護倫理 <新人> 目的：倫理的な課題や葛藤に気づき、倫理指針等と結びつけ、助言を得て倫理指針に基づいた看護を実践する 方法：①4/2 集合研修(新規採用者研修) ②9/30 集合研修(動画視聴+グループワーク)	看護倫理研修★ <継続> 目的：日常の看護提供場面における倫理的ジレンマに基づき、発言して表現する 方法：9/3 集合研修(講義+グループワーク)	看護倫理研修★ <継続> 目的：ジョンセンの4分割表を用いて、倫理的ジレンマから、倫理的問題や課題を明確にできる 方法：S-QUEクリニカルラダー別研修	看護倫理Ⅲ・Ⅳ★ <継続> 目的：倫理的問題や課題のある状況において、倫理的問題や課題の顕在化を図る 方法：S-QUEクリニカルラダー別研修 ①11/9 事例発表 ②12/14 事例発表		
臨床実践能力	急変対応	ELS・急変時対応研修<新人> 目的：心配停止患者の一時救命処置が実施できる 方法：5/8 集合研修(講義+演習)	ELS研修<安全> 目的：救命救急場面において、その場にいるメンバーで連携して救命救急を実施する 方法：5/1~12/25 部署内研修(演習)			
	(ニーズを捉える力) フィジカルアセスメント	フィジカルアセスメント <新人> 目的：助言を受けながら患者の観察やデータに基づき、正常・異常に気づくことができる 方法：4/27 集合研修(動画視聴+実技)	フィジカルアセスメント<継続> 目的：患者の観察やデータに基づき、患者の正常・異常を判断することができる 方法：S-QUEクリニカルラダー別研修	フィジカルアセスメント<継続> 目的：患者の観察やデータに基づき患者の正常・異常を判断し、個別的なケアが提供できる 方法：S-QUEクリニカルラダー別研修		
	(ニーズを捉える力) 看護過程	看護過程★ <新人> 目的：助言を受けながらゴードンの11の機能的健康パターンに沿って必要な情報を収集し、アセスメントできる 方法：6/24 集合研修(講義)	看護過程★ <継続> 目的：ケアの受け手に必要な身体的、精神的、社会的、スピリチュアルな側面から必要な情報を収集する 得られた情報をもとに、ケアの受け手の全体像としての課題を把握する 方法：5/1~10/31 S-QUEクリニカルラダー別研修			
	(ケアする力) 多重課題	多重課題 <新人> 目的：多重課題への基本を理解し助言を受けて実践できる 方法：5/8 集合研修(動画+グループワーク)				
	(ケアする力) 褥瘡予防	褥瘡予防研修 <新人> 目的：褥瘡予防について助言を受けて実践できる 方法：6/24 集合研修(講義+実技)	排泄ケア研修(TENA) <WOC> 目的：皮膚トラブルや不快感を軽減し、患者のQOL向上につなげる 方法：6/18、7/16、9/17、10/15、12/17、2/18 TENAマイスター試験			
	(ケアする力) 認知症看護	認知症ケア <新人> 内容：認知症高齢者日常生活自立度判定を元にした看護ケアの検討 方法：OJT、e-ラーニング	認知症看護 ※推奨研修 目的：認知症高齢者日常生活自立度判定シートに沿った情報を基に、認知症の悪化に影響する因子を踏まえてアセスメントができる 方法：S-QUEクリニカルラダー別研修	認知症看護 ※推奨研修 目的：自宅での生活環境を踏まえて、認知症看護を検討できる 方法：S-QUEクリニカルラダー別研修	認知症看護 ※推奨研修 目的：ケアの改善について、問題抽出と分析、改善策の実行と評価の視点で実践できる 方法：S-QUEクリニカルラダー別研修	
	(ケアする力) せん妄ケア	せん妄ケア <新人> 目的：せん妄ハイリスク患者ケアチェックリストをもとにした看護ケアの検討 方法：OJT、高齢者看護の委員会	せん妄ケア ※推奨研修 目的：せん妄悪化因子についてアセスメントでき、標準的な看護ケアが実践できる 方法：S-QUEクリニカルラダー別研修	せん妄ケア ※推奨研修 目的：個別的なせん妄予防ケアを実践し、適宜せん妄評価および必要ケアの検討ができる 方法：S-QUEクリニカルラダー別研修		
	(意思決定を支える力) ACP	意思決定支援 <新人> 目的：ACPとは 方法：e-ラーニング	意思決定支援 <継続CN> ※推奨研修 目的：意思決定支援(ACP)の必要場面に参加し、ケアの受け手や家族の思いや考え、希望、理解度を確認する 方法：S-QUEクリニカルラダー別研修	意思決定支援 <継続CN> ※推奨研修 目的：日々の看護を通し、意思決定の困難な状況(例：意思表示の困難な場合等)について理解し実践できる 方法：S-QUEクリニカルラダー別研修		
	(意思決定を支える力) 入退院支援	入退院支援 <新人> 目的：当院の入退院支援の一連の流れがわかる 方法：9/30 集合研修(講義)	入退院支援 <入退院支援リンク> ※推奨研修 目的：必要な情報を患者・家族から情報収集できる 地域包括ケアシステムの概要を理解する 方法：S-QUEクリニカルラダー別研修	入退院支援★ <退院支援リンク> 目的：入院前・入院後の支援の流れを理解し、退院支援に必要な情報収集ができる 方法：4月~1月 院内留学(患者サポートセンター)	入退院支援 <各部署> 目的：適切なリソースを用いて入退院支援について把握し実践できる 方法：OJT ①看護支援カンファレンス、退院前カンファレンスの実施、ファシリテーション、看護要約の作成・指導を実践	
	(協働する力) 看護補助者との協働	看護補助者との協働 <看護補助者> 目的：看護師が協働し看護チームの一員として、看護補助者と協働した行動をとることができる 方法：S-QUEクリニカルラダー別研修 「看護補助者研修」→「看護職員向け研修」→「選択式【A】看護職員と看護補助者との協働」				
勤労者看護	勤労者医療 <新人> 内容：勤労者看護について 方法：11月~12月 動画(DVD)	勤労者看護 <継続> 目的：勤労者看護を意識して看護を実践できる 方法：①10/15 中堅研修受講者伝達講習 ②11/12 中堅研修受講者伝達講習				
リーダーシップとマネジメント	チームマネジメント(協働する力含む)	コミュニケーション <新人> 内容：安全な看護を提供するために、双方向のコミュニケーション能力を身につける 方法：4/27 集合研修	チームマネジメント研修(部署の役割遂行 <継続> 目的：所属部署の目標達成のため、割り当てられた役割を遂行できる 方法：S-QUEクリニカルラダー別研修 ①5/1~10/30 S-QUEクリニカルラダー別研修	リーダーシップ研修 <継続> 目的：自身の向上を継続するとともに、組織の看護の向上や組織の新人・学生の指導に関与する 方法：5/1~10/31 S-QUEクリニカルラダー別研修	チームリーダー研修 <継続> 目的：チームリーダーとして部署・看護部の目標達成のために積極的に取り組み、成果を出す 方法：4/21 集合研修(講義) ①チームリーダー評価表	
	医療安全		リスクアセスメント★ <リスク> 目的：いろいろな場面を想定(KY T)して安全確認行動が実践できる 方法：5/1~12/31 S-QUEクリニカルラダー別研修	リスクアセスメント★ <リスク> 目的：リスクを予測し安全対策行動をとることができる 方法：5/1~12/31 S-QUEクリニカルラダー別研修	事故要因分析★ <リスク> 目的：分析手法を用いて解決策の検討ができる 方法：5/1~12/31 S-QUEクリニカルラダー別研修	
	感染管理	感染対策 <新人> 目的：感染マニュアルに沿って指導を受けながら実践することができる 方法：①6/24 集合研修(講義) ②9/30 集合研修(講義) ③感染チェックリストで評価★ 感染予防対策 ※推奨研修 目的：感染に対する意識を高め、感染防止のための活動ができる 方法：S-QUE 全職員対象必須研修eラーニング「感染予防対策」			感染対策とマネジメント <感染管理> 目的：部署における感染経路別予防策徹底のための活動ができる 方法：5/13 集合研修(講義+演習)	
専門性の開発能力	人材育成		プリセプター基礎研修 <新人> 目的：次年度プリセプターとして関与することができる 方法：3/4 集合研修(講義)	アソシエイト基礎研修 <新人> 目的：次年度実地指導者(アソシエイト)として関与することができる 方法：3/11 集合研修(講義)		
	人材育成(臨床実習指導者研修)		プリセプター研修 <新人> 目的：プリセプターとして関与することができる 方法：①6/18 集合研修(グループワーク) ②10/8 集合研修(グループワーク) ③2/18 集合研修(グループワーク) ④プリセプター評価表★			
	人材育成(災害支援ファース)	災害研修 <教育委員会> 目的：緊急事態(災害・火災・医療事故等)において状況に合った適切な役割行動をとることができる 方法：8/4 集合研修(講義)	臨床実習指導者研修 <臨床実習指導者会> 目的：看護学生の特性を理解し、知識や経験に基づいた指導ができる 方法：7/30 集合研修(講義) *講師：看護専門学校教員			
	自身のウェルビーイングの向上 看護の専門性の強化と社会貢献	リフレッシュ研修 <新人> 目的：仕事と生活のバランスを保ち、勤務することができる 方法：①4/27 集合研修(グループワーク) ②7/29 集合研修(グループワーク) ③9/30 集合研修(グループワーク) ④3/17 集合研修(グループワーク)	フォローアップ研修 <新人> 目的：看護の専門職としての自覚と社会から求められている役割の認識に基づき行動することができる 方法：6/30 集合研修(講義+グループワーク)	ボランティア研修★ <継続> 目的：組織の形・学生のロールモデルとなり、保健・医療・福祉に関わる専門職としての自覚をもって行動できる 方法：9/9 集合研修(講義+グループワーク)		
看護実践の質の改善		看護研究 <教育委員会> ※推奨研修 目的：エビデンスに基づいた看護を考えながら実践することができる 方法：S-QUEクリニカルラダー別研修	看護研究 <教育> ※推奨研修 目的：実践の中から研究課題を見つけ、研究につなげることができる 方法：S-QUEクリニカルラダー別研修	看護研究 <教育> ※推奨研修 目的：看護研究に参加し、助言を得て、研究計画書が立案できる 研究計画書を作成し、研究に取り組む 方法：S-QUEクリニカルラダー別研修	看護研究 <教育> 推奨研修 目的：研究の成果を抄録・論文としてまとめる 主体的に看護研究に取り組み、学会発表できる 方法：S-QUEクリニカルラダー別研修	

		レベル新人 *与えられた課題ができる	レベルⅠ *病棟で一人前として自律できる	レベルⅡ *リーダーシップが発揮できる	赤字：必須研修 < >：担当	★：課題提出
専門的・倫理的・法的な実践力		倫理的・法的規範に基づき実践する		個別の状況において、倫理的・法的判断に基づく実践を行い、規範からの逸脱に気づき表明する	倫理的・法的判断に基づき認識した課題や潜在的リスクの解決に向け行動しロールモデルを示す	より複雑な状況において倫理的・法的判断に基づき行動し、倫理的かつ法律を遵守した実践のための体制整備に組織や分野を超えて参画する
専門性の開発能力		基本的な看護手順に従い必要に応じ助言を得て看護を実践する	標準的な看護計画に基づき自立して看護を実践する	ケアの受け手に合う個別的な看護を実践する	幅広い視野で予測的判断を持ち看護を実践する	より複雑な状況において、ケアの受け手によって最適な手段を選択しQOLを高めるための看護を実践する
リーダーシップとマネジメント		(責任の最も軽い、難易度の低い) 軽微な組織的役割を果たす	組織の一員としての役割を理解し、部署の目標達成に向けて行動する	部署での立ち位置を理解し、部署における組織的役割(チームリーダー・サブリーダー、学習会係、業務改善係、感染管理、褥瘡ケアなど)を遂行する	部署・看護部で、特殊または専門的な能力を必要とされる役割、または、指導的役割(学生指導、教育委員、リスクマネジメント委員など)を遂行する	部署を超え、看護部や病院から求められる役割を遂行する
専門性の開発能力		自己の課題を指導によって発見し、自主的な学習に取り組む	自己の課題を明確化し、達成に向けた学習活動を展開する	自己の学習活動に積極的に取り組み、指導的な役割を実践する	自己のキャリア開発に関して目指す方向に主体的に取り組む、ロールモデルとなる主体的に研究に取り組む	単独で専門領域や高度な看護技術等について自己の教育活動を展開する
認定看護師研修	フィジカルアセスメント コース研修		<クリティカルケアCN> フィジカルアセスメント【初級】 目的：患者の観察やデータに基づき、患者の正常・異常を判断することができる 方法：①6/8 集合研修(講義+模擬患者による実践) ②7/6 集合研修(講義+グループワーク)	<クリティカルケアCN> フィジカルアセスメント【中級】 目的：病態と関連付けたアセスメントができ、異常を予測した看護が提供できる 方法：①9/7 集合研修(講義+症例検討) ②10/5 集合研修(講義+グループワーク) *対象はコース研修のため、受講は初級を受講した人		
	皮下埋め込み型ポート	<がん化学療法看護認定看護師> 皮下埋め込み型ポートの基礎と実践 目標：皮下埋め込み型ポートに関する基本的知識を習得し、安全な穿刺及び管理ができる 方法：9/17 集合研修(講義+実技)				
全員対象	重症度、医療・看護必要度	重症度、医療・看護必要度研修 <新人> 目標：重症度、医療・看護必要度の評価を適正に行うことができる 方法：4/6~4/30 QJT S-QJF全職員対象必須研修eラーニング 「重症度、医療・看護必要度」	重症度、医療・看護必要度研修<記録ケア> 目標：重症度、医療・看護必要度の評価を適正に行うことができる 方法：動画視聴			

静脈注射研修

	レベル1	レベル2	レベル3	レベル4
実施範囲	臨時応急の手当てとして看護師が実践することができる	医師の指示に基づき、看護師が実施することのできる	医師の指示に基づき看護師が実施できるが、レベル2よりも実施時のリスクが高く、実施に当たってはより注意を要する ハイリスク役の投与に関しては使用基準を参照し十分に注意し実施する	看護師は実施しない
研修	4/2 「薬剤の基礎知識」 *講義 4/27 「抗がん剤の基礎知識」 *講義 5/11 「看護業務と法的責務」 *講義	5/8 「ME機器(輸液・リフティング)」 *講義+実技 5/11 「静脈注射・点滴静脈内注射・静脈採血」 *実技	5/27 「ハイリスク薬・麻薬の基礎知識と管理」 *講義+知識試験	
対象	卒後1年目看護師	卒後1年目看護師	卒後2年目看護師	